

<タイプ1>

- ・手塚治虫のブラックジャックが好きだった。
- ・コツコツ努力して結果を出した人物を見つけ、その人をレポートにしたい。
- ・手塚治虫は60歳で亡くなってしまっていて、もう少し長生きしていたら、今の漫画界に新しい作品が出てきたと思う。
- ・自分に手に負えないと思っているところが多く当てはまり、自分に対するコンプレックスが異常に強いと感じた。
- ・ブラックジャックしか読んだことがないので他の作品も読んでみたい。エニアグラムの自分の手に負えないと思っているところが、当てはまるが多かった。
- ・漫画家は短命、体力を使いすぎる。研究しないと漫画は書けない。
- ・漫画家は頭が良くないとやっていけない。

<タイプ2>

- ・記念館に足を運んでみたいと思えた。
- ・特別講座の振り返りをしてくれるのがとてもありがたい。
- ・最初に漫画を読む方がストーリー性が掴めて、話に入りやすい。
- ・エニアグラム通りで関心を持った。
- ・努力は大事だと思った。以前藤子不二雄さんが隣に住んでいてよくドラえもんのカレンダーなどをもらった。
- ・アニメ偉人について深く知ることができた。
- ・一つのことを熱心になることはすごい、私もそのようになりたい。
- ・手塚治虫は人間の生死を扱う作品が多いと聞いて納得した。漫画家の記念館は面白そうだから行ってみたい。
- ・一度で良いので、一流のものに携わりたい。
- ・漫画だったので興味深かった。

<タイプ3>

- ・手塚治虫一人で今の漫画大国を生んだとも言われていることに驚愕した。
- ・「これでいいのだ」というセリフは、赤塚不二夫さんが思う自由のあり方のような気がした。

<タイプ4>

- ・高2の夏に、父と石ノ森生家と記念館を訪れたことがある。また行きたいと思った。
- ・手塚治虫のブラックジャックを読んだとき、大ショックを受けた。生と死はいったいどんなものが認知できた。
- ・手塚治虫の晩年の作品に好きなものが多い。
- ・手塚治虫が様々なジャンルを描いていることを知れたので、これから見てみたい。
- ・YouTubeを見るのは勘弁してほしい。1時間半かけて大学にきてYouTubeはやめてほしい。
- ・リレー講座の話が印象的だった。AIが人間には勝たないと聞いたとき驚いた。
- ・赤塚不二夫の信条は「人生は冗談」とは、簡単なスタイルを演出。イノベーションの語彙も流行語、動作アイデアも流行動作となる。

<タイプ5>

- ・赤塚不二夫は、万人受けのするマーケティングを誰に言われるまでもなく実行していた。奇抜なだけ、飛び抜けた発想だけでは大成しない理由はそこにあるのかもしれない。
- ・手塚治虫が医者であったことを初めて知った。
- ・エニアグラムも統計データから考えられた傾向なので正確ではない。しかし、参考程度に使うと意外と当たることが多い。
- ・図解を作るメリットとしては後で付け足せるということが一つあるというのは、今日再度認識できた。
- ・石ノ森章太郎の実家は宮城で見た。
- ・石ノ森章太郎「むりやり手を動かそうとしているうちに不思議とちゃんとアイデアが湧いてくる」持論がとても素晴らしいと思う。
- ・もっと多くの偉人を知りたい。
- ・特講の話をする時間をもう少し減らしても良いと思う。

<タイプ6>

- ・漫画家の人の仕事量はすごい。エニアグラムの6番はすべて当てはまっていた驚いた。
- ・赤塚不二夫会館に行ったことがある。家族の方にお会いすることができた。
- ・漫画家は長時間の作業の影響か、重い病気に罹る方が多い。
- ・自分自身に確信が持てないというところに当てはまっている。
- ・有名人や著名人を知りたい。
- ・「漫画で読めば解る」に共感した。
- ・新座市に住んでいる。手塚治虫先生と少し縁を感じる。
- ・手塚治虫の「火の鳥」を読みたい。ブッダは6巻ぐらいまで読んだ。続きを読みたい。
- ・赤塚不二夫さんの「自分が最低だと思っていればいいのよ」の言葉がいいなと思った。
- ・最初は難しい本を読まずに、まずは、簡単な小説や漫画などを読んでいきたい。早めに研究する人物を決めて徹底的に研究していきたいと思った。
- ・手塚治虫は偉大だと改めて感じた。「一流を知ってから自分の世界を作れ」その通りだと思った。火の鳥も読みたい。
- ・手塚治虫の考え方はとても素晴らしい。
- ・今の自分にとってのモデルは、人生をひたむきに生きている人です。

<タイプ7>

- ・レポートについて詳しく教えて欲しい。
- ・アイデアが浮かばなくても、取りあえず手を動かすことが大切であることを知った。私も見習いたい。
- ・漫画家は学者ほど勉強する大変な職業だと分かった。才能の8割は体力、とても良い言葉。
- ・日本人で手塚治虫を知らない人はまずいない。
- ・表現者の考え方に、毎回驚かされる。

<タイプ8>

- ・動画が大きい時は見やすく良かった。
- ・民主主義は近くの人がトップを止めることで成り立つ。
- ・手塚治虫を取り上げていて、とても興味の惹かれる講義だった。「ルパン三世」の作者、モンキー・パンチ先生も取り上げて欲しかった。エニアグラムがいちいち当たっていて何か嫌な気分になる。
- ・手塚治虫の言葉から、一流の中で自分を探すことが大事であると学んだ。
- ・日本の漫画は世界でも一流だと思った。

<タイプ9>

- ・今回のビデオを見て漫画家は大変なのだということが分かった。
- ・リレー講座の話が印象的だった。
- ・石ノ森章太郎は365日ほぼ毎日働いていて、元旦だけ休んでいると聞いて、好きなことだとこれだけ働くことができるのかと思った。
- ・手塚治虫の世界の名著は今後読んでいきたい。
- ・漫画家の話が面白かった。
- ・自分で手に負えない所をどう対処するべきかを学んだ。自分の得意な分野で手に負えない所を補うこと。

<タイプ?>

- ・手塚治虫の火の鳥を読んだことがある。
- ・私は中国から来た。日本漫画の影響を受けて、日本漫画が大好きだ。
- ・アトムからいろいろなことを勉強した。松さんの漫画も見ることがあって、なつかしい。
- ・留学の資金を手に入れなければならないのに職種に悩み中々踏み出せない。日本というせまい世界にとどまりたくないの、早くビザを取って世界に出たい。
- ・手塚治虫はいろいろな漫画を書いてきたがあまり好きではない。
- ・漫画家は、深い思想を持っているからこそ、良い漫画を書けるのだと思った。
- ・手塚治虫先生はやはり漫画の神様である。
- ・「火の鳥」は読んだことがあるが、他の作品も読んでみたい。
- ・手塚治虫の幅の広さに驚く、古今東西の人類の知的財産を漫画という手法で描き出している。
- ・漫画家こそ日本の誇りだと思う。
- ・アイデアが先ではなく行動しているうちにアイデアが湧いてくると分かり、まずは行動を起こす事が必要だと知った。
- ・少し漫画に興味を持った。
- ・画面が暗かったので、もう少し教室を暗くして欲しかった。
- ・手塚治虫の動画を見ることができ嬉しかった。私も一時期漫画家になりたかったので、今回は楽しかった。
- ・手塚治虫の「一流の映画を観ろ、一流の音楽を聴け、一流の、」上の世界を見て自分のものにしろ、と捉えた。とても良い言葉。
- ・今月11月3日は、文化の日、漫画の日、手塚治虫の誕生日です。
- ・勉強量について学んだ。漫画家ほど大変な仕事はないと思った。